

相模川流域の縄文集落が語るもの ～川尻中村遺跡とその周辺～

講師：かながわ考古学財団 天野 賢一さん

2017年 8月31日(木) 14:00～15:30

○会場：多摩市・関戸公民館(VITA) 8階 大会議室

(京王線・聖蹟桜ヶ丘西口徒歩3分 多摩市関戸 4-72 ヴィータ・コミュニネ8階)

○参加費：団員 700 円/名 一般 1,000 円/名

○申込み：事前申込不要 当日会場にて受付

○定員：先着90名 団員以外の方もお気軽にご参加ください

(※当日は定員になり次第締め切りとさせていただきます)

講演内容

歴史古街道団では、現在、伊那・諏訪・八ヶ岳・甲府盆地・相模野・多摩丘陵・武蔵野が縄文文化の交流で密接な結び付きがあったのではないかとという視点で、その“交流の道と遺跡”を探索しています。その中でも平野や盆地から関東山地に出入りする境目の集落群として、休憩と情報交換の場の役割を担っていたのが、津久井城跡を目前にした相模野の縄文大集落「川尻遺跡群」であり、また甲州盆地の釈迦堂遺跡付近ではなかったかと考えています。今回は、その出入口にあたる津久井城跡に面した奥相模野で、次々に発見されている川尻遺跡群の発掘を担当されてきた講師の天野賢一先生に、ご専門のお立場から相模川流域の縄文集落に関して、お話しいたします。



川尻中村遺跡土器

講師紹介

所属：公益財団法人かながわ考古学財団 調査研究部 調査課

専門分野：縄文時代集落 近代遺跡

執筆：天野賢一ほか 2002『川尻中村遺跡』かながわ考古学財団調査報告 133

公益財団法人かながわ考古学財団編 2010『掘り進められた神奈川の遺跡 旧石器から近代まで』有隣堂、など。



歴史古街道団

本部：東京都多摩市

宮田太郎(歴史古街道団長) TEL 090-7002-3431

<http://rekkodan.a.la9.jp/>

2017-NO. 23